



2024年度



2024(R. 6). 9. 14.

明王台シャローム幼稚園

地域の子育て応援！！ ～
未就園児と保護者の方を対象として～

ぷちぱるレター 9月号 (Vol. 3)



～ なんでも「いや！！」な“いやいや期” ～

9月に入ったというのに、まだまだ暑い日が続きます。大人はもちろん、子どももうなるような猛暑が毎年やってきますが、子どもは暑さにも負けず、たくさん遊び、たくさん動き、たまに「いや！」をしてくれます。中にはとにかく「いや」という言葉が好きな時期もあります。「暑いからお部屋であそぼう？」「いや、お外がいい！」、「暑いからお買い物行くのに帽子被ろうか。」「いや！被らない！」、「寝る前に歯磨きしよう？」「いや！まだ寝ない！」等と、朝から晩まで「いや」の連発がある時期もありますね。

「いや」と言えるのは、自分の考えを主張できる証です。それが大人には手と時間をとられてひどく厄介な時期に見えることもありますが、1歳半頃から始まるこの現象は「いやいや期」や、「魔の2歳児」とも呼ばれ、4～5歳くらいまでにおさまるといわれています。今回はそんな「いやいや期」についてふれてみたいと思います。

●いやいや期＝心と脳と体の発達を模索中

一般的に1歳半頃から始まると言われている「いやいや期」ですが、早い子どもでは生後6ヶ月頃から兆候が見られることもあるそうです。ですが、みなさまご承知のように、子どもがみんな「いやいや期」に突入するわけではありません。いやいや期に入ったから大変、ないから楽でよかった、という話を聞きますが、どんな子どもでも手がかかる時期(幼児期かもしれませんし、成人期かもしれません)というものが必ずやってきます。いやいや期がないと安心していたら就学前に親を悩ませる時期がやってきた、という話もよくあります。長い目で見ればほんの短い期間、でも真ただ中にいる親にとっては疲れ果ててしまう、そんないやいや期はただの感情のわがままではなく、脳に関係があるようです。

いやいや期には“**前頭前野**”が大きく影響しています。前頭前野は最もよく発達した脳部位であるとともに、最も遅く成熟する脳部位といわれており、前頭前野の働きとして、「考える」、「行動や感情をコントロールする」、「コミュニケーションをする」、「やる気を出す」等があります。この「**行動や感情をコントロールする**」働きを司る部位が未発達なため、感情の制御ができず、また言葉も未熟な為、簡単な「いや」という言葉と態度で意志を表します。その為、言葉の獲得が比較的早い、性格がおっとりしているお子様はいやいや期がみられないことがあります。

つまり、いやいや期は脳と言葉が未発達ゆえの時期です。なんでも「いや」で済まされると、大人はついつい怒ったり、強く言って聞かせてしまいがちになりますが、子どもはどの子も成長途中です。「脳がまだ成長途中なのよね。」と思えば、少し気を長く構えられそうな気がします。

また、言葉を話しはじめたり、自分で少しずつ切り替えや夢中になっていたことと別の興味ができたり、ルールが分かるようになってくると、自然といやいやも落ち着いてきます。自分でやりたいこと、手伝ってもらいたいけど自分の想像と違うこと、それらをうまく伝えられないこと等、子どもたちの小さな体の中には、たくさんの興味関心

と、できる気持ちでいるけれどできない自分にもどかしさを感じる葛藤が複雑に入り混じっています。

●「いや!!」「自分で!!」は自我の芽生え～自立への道を歩み始める“幼児期”

周りの世界を知り、自分で取捨選択をしたい、できるようになってきた時期だからこそこのいやいや期です。体も少しずつ大きくなり、自分の足で行動できる範囲が広がるからこそ、自分でできる気になります。赤ちゃんのように全て受け入れるだけの時期と違って選択肢ができたからこそ、する・しない等の選択をすることができます。体と心の成長と捉え、次の成長のステップに上がるために、お子様が自分で心の整理や気持ちの切り替えができるよう見守りと促しをしてあげましょう。この時期に自分の感情の制御とマナーを知ることはとても大事です。

いやいや期の過ごし方として、気持ちを代弁してあげる(感情の言葉への変換をしてあげます)、あえてお子様に選択をさせてあげる、時間にゆとりをもつ、等の対応もあります。

自分自身の要求が制限されたり、禁止されたりするとき、どこまで「いや」を突き通し、どのあたりで切り替えて受け入れるのかが、がんばりどころです。自分の要求を一切放棄して、大人しく親の言いなりになる「聞き分けの良い子」が「良い子」というわけではありません。自分なりの解決法が作り出せるように、大人は関わりを進めていきたいですね。

ただ、いやいや期だからといって、どんな行動を許すでもなく、自分の好きなことだけを選択できるでもなく、わがままや自分勝手に助長させてしまわないように、子ども主導にはならないように気を付けましょう。**家族以外の他者と関わって生活する上で、ルールやマナーを守ることは必要です。選択できることはあるけれどいつもではないこと、状況によってできないこともあることはきちんと伝える大人の対応があるからこそ、子どもたちは社会のルールを学ぶことができます。**

自分でやりたい気持ちはとても大切です。受動的でなく、自分から行動を起こすことで自分の世界と出会いも広がります。時間がない時には「時間がないから～」と、ぐずることが分かっても仕方なく親が手を出すこともあります。出来る限り自分でする機会を奪わないようにしましょう。何事も自分で繰り返し行わなければ上手にできませんし、早くできるようにもなりません。お子様の自立に向けても、雑な仕上がりでも、周りが多少汚れてしまっても**なるべくお子様自身でできる機会を増やし、できたという結果よりもやろうとした気持ちを認めてあげましょう。**必ずいやいや期は終わります。今だけ、今しか見られない姿だと思って、お子様の今の成長を感じ、見守りましょう。また、どうしても大人の疲れやイライラがたまることもあります。そんな時は、同じ経験や同じ子育て中の方と話をすることで少し気持ちが軽くなることもありますので、「ぶちっこぱるこ」や「助産師さんによる子育てさろん」、「ママ café」等をご利用ください。みなさまのご相談をいつでもお待ちしております。

今月の絵本 『いやだいやだ』 福音館書店
せな けいこ 作・絵 定価880円(税込)

いやいや期真っ最中のお子様と一緒に読みたい絵本です。
なんでもいやと言ってしまうけれど、止められない自分もいや。
いやのるツボに入って困惑する子どもの気持ちもなんともいえない
ものです。
気持ちを代弁してくれるのも絵本の素敵なところですね。

次回ぶちっこぱるこのご案内

- 10月16日(水)15:00～
「ぶち仮装でハロウィンパーティ♪
～うさぎとかめも加わって変装勝負!～」
- 11月9日(土)10:00～
「みんなきてみんな催!
～2024 シャローム祭り～」
毎月お誕生日のお祝いがございます!



《 お問い合わせ 》 “愛” みんなにいつまでも “LOVE” for You All, Forever
学校法人のぞみ学園
明王台シャローム幼稚園〔幼稚園型認定こども園〕(住所:福山市明王台1丁目2-7)
TEL : 084-951-6006

